

環境未来都市提案書概要(様式2)

目指すべき将来像【1.(1)】:

「政府・自治体財政支出中心の地域活性化施策」から「民間資本活用中心の地域活性化施策」への転換による、「沖縄21世紀ビジョン」における将来像(①沖縄らしい自然と歴史、伝統、文化を大切にす島 ②心豊かで安全・安心に暮らせる島 ③希望と活力にあふれる豊かな島 ④世界に開かれた交流と共生の島 ⑤多様な能力を発揮し、未来を拓く島)の実現

① 課題・目標・取組方針【1.(2)】

<分類>①環境-a)低炭素・省エネルギー  
<課題・目標>CO<sub>2</sub>を中心に温室効果ガスが増加しているため、2022年における温室効果ガス20%(2012年比)を削減する。  
<取組方針>  
・県産天然ガスおよび再生可能エネルギー活用によるエネルギーシフト実現  
・自動車から公共交通へモーダルシフト実現

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】

- a. 県産天然ガス(水溶性天然ガス並びに構造型ガス)の導入
- b. 食品残渣リサイクルによるバイオガス発電の導入
- c. 大規模太陽光発電の導入
- d. 小型風力発電の導入
- e. 特定地域におけるスマートグリッド化
- f. LRTの導入と既存公共交通機関(ゆいレール等)との連携
- g. BRTの導入と既存公共交通機関(ゆいレール等)との連携
- h. コミュニティバスの導入
- i. 各公共交通機関及び周辺商業地域への共通ICカード導入

※2.(1)①取組内容のみ記載すること  
※再掲可

② 課題・目標・取組方針【1.(2)】

<分類>②超高齢化-1-e)医療産業  
<課題・目標>観光業の付加価値が望まれているため、観光客1人当たりの県内消費額を2022年に30%引き上げ、観光収入1兆円を目指す。  
<取組方針>  
・医療ツーリズム事業の展開による、観光業付加価値の向上

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】

- a. 浦添市における医療ツーリズム提供拠点の整備
- b. 豊見城市における医療ツーリズム提供拠点の整備

③ 課題・目標・取組方針【1.(2)】

<分類>②超高齢化-2-f)地域医療  
<課題・目標>高齢者医療コストが上昇しているため、老人医療費を2022年に全国平均レベルまで低減化(15%程度)する。  
<取組方針>  
・医療ツーリズムのサービスを地域住民へ提供することでの高齢者の健康増進  
・産業振興による知的シルバー層活躍の場の提供

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】

- a. 浦添市における地域医療拠点の整備
- b. 豊見城市における地域医療拠点の整備
- c. 糸満市における地域医療拠点の整備

④ 課題・目標・取組方針【1.(2)】

<分類>③その他-1-i)経済的自立を目指す南部西岸都市圏の建設  
<課題・目標>自立型経済が確立されおらず、産業振興、雇用改善がなされていないため、完全失業率の改善(2022年に5%程度)、勤労者世帯の平均年収(2022年に50%増の700万円程度)を目指す。  
<取組方針>  
・既存産業の発展および新産業の発展の基盤となるまちづくりと地域住民が「豊かに」「便利に」暮らせるまちづくりの実現

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】

- a. 浦添市牧港補給地区(キャンプキナー)を含めた西海岸観光・商業地整備
- b. 浦添市ゆいレール延伸第4駅周辺のコンパクトシティ整備
- c. 浦添市国道58号沿線商業地区再整備及び浦添南第1地区・第2地区整備
- d. 那覇市ゆいレール古島駅周辺のコンパクトシティ整備
- e. 豊見城市豊崎タウンの観光・商業地整備
- f. 豊見城市中心市街地のコンパクトシティ整備
- g. 豊見城市豊崎周辺の物流拠点整備
- h. 糸満市災害時対応拠点整備
- i. 対象4市の既存建物エコ改修

⑤ 課題・目標・取組方針【1.(2)】

<分類>③その他-2-i)まちづくりをコントロールする組織の確立  
<課題・目標>地域の全体最適を目指すにあたり採算性の高い事業と低い事業の両立を実現できる仕組みが必要であるため、全体感を持ったまちづくりをコントロールする機能を2013年4月に確立する。  
<取組方針>  
・まちづくりをコントロールする組織の確立にあたり、必要なガバナンス、組織、資金調達、知のプラットフォーム等包括的な枠組みの検討と構築

5年以内に実施する取組内容【2.(1)】

- a. 沖縄まちづくり企業の設置及び運営
- b. 民間資金を中心とした資金調達及び全体最適の観点による資金の適正配分

複数の課題・目標を一体的に進める事項(相乗効果や副次的効果についての簡単な解説を含む)【1.(3)①】

- ・<③-2、①、②-1、②-2、③-1> 沖縄環境未来都市の根本的な構想や方向性を失わせないため、また各取組の相乗効果を最大限引き出すための検討、調整が必要となる。
- ・<①、②-2> モーダルシフトを担う公共交通網の整備にあたり、健康増進を担う地域医療拠点へのアクセスを考慮する事により、地域医療サービスの利用を促進させる。
- ・<②-1、②-2> 観光と一体となった医療ツーリズム産業の拡大によって、その収益を高齢者向け医療に還元することが可能となる。また、医療ツーリズムの提供する健康増進プログラムを高齢者に提供する事により、高齢者の健康的な暮らしを支援することができる。
- ・<③-1、①、②-1、②-2> 沖縄南部西岸都市圏を一大経済圏として整備・成長させる中で、圏内のゾーニングやエネルギー供給/マネジメント、交通の便、動線を考慮することで経済活動の極大化を図ることができる。